

はしど

平成30年 2月28日
 学校便り 第11号
 練馬区立橋戸小学校
 校長 河崎 晃二

<http://www.hashido-e.nerima-kyo.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

東京2020大会マスコット

校長 河崎 晃二

今年度も残り16日間となりました。4月になると子供たちはそれぞれ学年が上がり、6年生はいよいよ中学生です。今、橋戸小学校では、新年度に向けて、準備を進めているところです。

さて、現在、平昌ではオリンピックが終わり、3月8日からのパラリンピックが始まろうとしています。オリンピックでは、日本代表選手の活躍が大きく報道され、大いに盛り上がりました。そして、冬季大会において過去最多のメダル数になりました。2020年の東京大会においても、みんなで盛り上げていけたらと考えています。

その東京大会のマスコットについてですが、橋戸小学校も投票に参加しました。各学級で、それぞれのマスコットの外観や由来等を考え、どれが東京大会にふさわしいかを検討して、学級ごとに意見をまとめました。

橋戸小は、1～6年まで12学級あるので、12の意見にまとめます。結果は(ア)6,

(イ)4,(ウ)2,でした。この結果をそのまま「東京2020大会マスコット審査会」に報告しました。その結果の発表予定は2月～3月となっているので、まもなく発表されることでしょう。

今年度は、開校40周年の記念すべき年でした。記念行事に向けての準備や式典当日には、保護者や地域の皆様のお力添えを強く感じました。誠にありがとうございます。

また、PTA組織が中心となって、一年間様々な行事をしっかりと支えてくださり、さらには、地域においても町会の皆様や、学校応援団をはじめとするボランティアの皆様にご協力いただき、子供たちが見守られ、無事に過ごすことができました。この一年間の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

どうぞこれからも子供たちの教育環境を整えるために、保護者・地域の皆様のお力添えを賜りますようお願い致します。平成30年度もよろしくようお願い申し上げます。

マスコット候補【ア】



オリンピックマスコット

伝統と近未来がひとつになったキャラクター

- ◆市松模様とデジタルを合体させたデザイン
- ◆音のことと新しいこととでもくわしい
- ◆正義感が強く運動神経がバツグン
- ◆どんな場所にも瞬間移動できる



パラリンピックマスコット

桜の触覚と超能力をもつクールなキャラクター

- ◆市松模様と桜を合体させたデザイン
- ◆ふだんは静かだが、いざとなるとパワフル
- ◆強い信念をもち、自然を愛する
- ◆石や風と話したり見るだけでものを動かせる

マスコット候補【イ】



オリンピックマスコット

日本をあたためる炎と大地から生まれたキャラクター

- ◆まねき猫と神社のキツネを合体させたデザイン
- ◆足が速く、線筒で履物がすき
- ◆お祭りの活気を伝える
- ◆炎のほっぺで元気をあたえる



パラリンピックマスコット

日本に四季をよぶ風と空から生まれたキャラクター

- ◆神社のごま犬と雲を合体させたデザイン
- ◆雲のたてがみで枯れた木に花をさかせる
- ◆軽いからだで空をとぶ
- ◆四季の魅力を伝える

マスコット候補【ウ】



オリンピックマスコット

昔話の世界からとびだしてきたキツネのキャラクター

- ◆キツネと勾玉を合体させたデザイン
- ◆すばしっこく、スポーツ万能
- ◆入なっつくく、リーダータイプ
- ◆風の精霊となかよし



パラリンピックマスコット

頭の上の葉っぱを使い自由に変身するタヌキのキャラクター

- ◆昔話のほけるタヌキをデザイン
- ◆おっとりしている
- ◆まわりを楽しませるムードメーカー
- ◆森の精霊となかよし

